

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2023年2月
第226号

もくじ

報 告	2
各部局士会活動案内・報告	3
お知らせ	7
編集後記	9



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.227 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月20日	No.230 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月20日
No.228 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月20日	No.231 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月20日
No.229 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月20日	No.232 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月20日

❖報 告❖

☐「原点回帰」理学療法（士）という 職業を選択して想う

一般社団法人 千葉県理学療法士会
副会長 竹内 弥彦

県士会ニュースをご覧になっている会員の皆さま、こんにちは。副会長の竹内です。

唐突ですが、COVID-19の感染拡大の影響で中止となった幻の第25回千葉県理学療法士学会のテーマは「原点回帰」でした。私事ですが、理学療法士の免許を取得してから今年で30年の節目を迎えます。自分ではまだ若手のつもりでおりましたが（笑）、理学療法士として育てていただいた「千葉県」に何か貢献できないかと考え過ぎているうちに、あっという間に30年が経過していました。今回、県士会ニュースの巻頭言を執筆するにあたり、原点回帰して理学療法士という職業を選択して想うことを記載したいと思います。

ご存じの通り、皆さまは（一社）千葉県理学療法士会の会員であると同時に（公社）日本理学療法士協会の会員でもあります。皆さまは、ご自身の職能・学術の母体団体である日本理学療法士協会のホームページを定期的にご覧になられていますでしょうか。私自身は養成校での勤務期間が長いことや生涯学習制度が複雑化したこともあり、週に一度は協会のホームページを閲覧するようにしています。先日、協会のホームページにて「笑顔をあきらめない。」写真コンテストでの優秀作品が掲載されていました。→<https://www.japanpt.or.jp/rigakuryohonohi/photocon/10/>

掲載された写真と説明文を読み、感銘を受けまし

た。とくに、優秀賞の「タイトル：はじめての一人旅」の文章を読みながら、私自身の臨床時代に同じような経験をされていた担当患者さんとも重なり、当時の想いが蘇ってきました。私自身は理学療法士を養成する大学に勤めていますが、やはり原点は臨床の現場にあることを、当たり前のことですが改めて強く感じました。

職域が拡がり、私たち理学療法士の業務内容やその目的は多岐に渡りますが、それらの根本は目の前の困っている人に対して、自身の専門性を用いて主観的にその人が望まれていること、客観的に必要なことを提供することだと考えています。自身の専門性、つまり困っている人の役に立つために必要な知識や技術を高めるために自己研鑽を行い、さらにはより新しく正確な知識・技術を得るための研究活動を行います。ときには利益を度外視しても、これらの活動を進めることが仕事として認められる職種は、そう多くはないと思います。冒頭でも述べたように、私自身は理学療法士の免許を取得してから今年で30年になります。当時は珍しい職業であった「理学療法（士）」に出会い、自身の職業として選択できたことはとても幸せであったと思います。同時に、非常に飽きっぽい性格の私が同じ職業を30年間も続けてこられたことに驚き、そして感謝しています。

この巻頭言を読んでくださっている会員の皆さまも、「理学療法（士）」という職業に出会い、そして選択をされたのだと思います。どうか、ご自身が選択された専門職である理学療法（士）という仕事を楽しめ、深めて、皆さまが関わった人たちが幸せのピースを見つけられるサポートをしていただけることを願っています。



❖各部局士会活動案内・報告❖

📌学術局報告

学術局 局長 藤井 顕

新生涯学習制度が開始され、1年間が経過しようとしております。前期研修・後期研修を通じた登録理学療法士取得、登録理学療法士取得者による更新、専門・認定理学療法士取得または更新など5年間の過程ではありますが、計画的に取得を進められるようお願いいたします。お問い合わせなどありましたら、千葉県理学療法士会ホームページより学術局のお問い合わせフォームをご利用ください。

【第28回千葉県理学療法学会について】

学術局 局次長 小林 好信

2023年3月5日（日）に開催される第28回千葉県理学療法学会（以下：学術大会）の連動企画として、登録理学療法士後期研修領域別研修Cプログラム9講座（2/26～3/4）と更新研修会『保健・医療・介護・介護予防におけるサステナブルな理学療法士の価値の創造』（3/9～3/19）をオンデマンド配信いたします。学術大会に事前参加申込をされた方への特典として、全て無料で視聴することが可能です。単位が必要な方は、日本理学療法士協会マイページからの事前申込と動画の最後に表示されるQRコードから感想をご入力いただくことにより単位取得も可能となっております。学術大会は、オンデマンド参加も可能となっておりますので、この機会にぜひ学術大会への参加をご検討いただけましたら幸いです。皆さまのご参加をお待ちしております。

【登録理学療法士更新について】

学術局 企画運営部 部長 室井 大佑

登録理学療法士、認定／専門理学療法士は5年ごとの更新となっており、各ブロックや県士会承認の施設が主体となって研修会を実施することを目指しています。ただ、現状では登録理学療法士を取得するための研修を優先させているために十分な実施ができていないのが現状です。しばらくは県士会主催でも更新のための研修会を企画していきたいと考えております。第

28回千葉県理学療法学会においても更新研修会が開催されますので、ぜひご参加ください。もし、その日の都合がつかない場合は、後日（3/12）実施されるオンラインでの研修会にご参加ください。

【研究支援セミナーについて】

研究支援委員会 委員長 高杉 潤

研究支援委員会では、今年度も県士会員の皆様の研究活動に役立つセミナーを企画しています。1月には千葉県理学療法学会での発表にも役立つプレゼンテーションの極意、3月には研究費・助成金獲得のコツについてのセミナーを予定していますので、ぜひご参加ください。また、来年度も引き続きセミナーを開催する方向で準備を進めておりますので、県士会のホームページ等を適宜ご確認ください。会員の皆様の参加を心よりお待ちしております。

📌公益事業局報告

●千葉県健康づくり支援課依頼事業「健康・体力づくり指導者研修」について（報告）

健康増進支援部 相談役 三好 主晃

本事業に対しては、2017年、健康増進支援部の前身である、スポーツ・健康増進支援部の頃より、山武長生夷隈圏域在勤理学療法士と共に参画させていただいたことが、千葉県理学療法士会としては初回の事業協力でした。次いで、2018年度においては、君津圏域理学療法士と共に知識構築型ジグソー法を取り入れるなど、趣向を凝らして開催協力をさせていただいております。

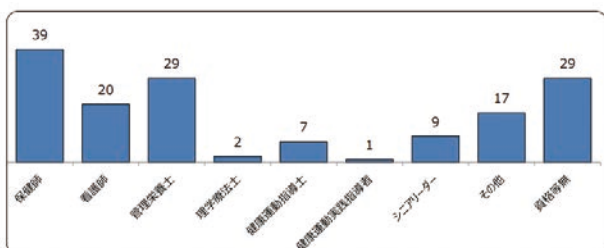
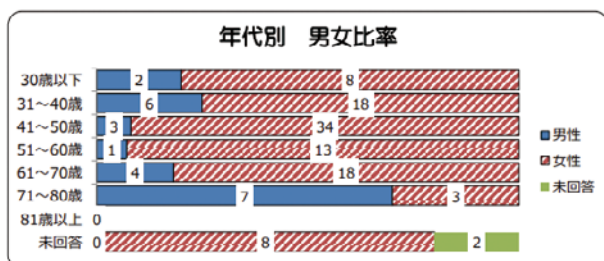
そして、新型コロナウイルスの影響により、3年の時を経て、今回2022年度は、主に健康増進支援部4名、菅野央倫氏（株式会社タカサ）、斎藤龍祐氏（医療法人鉄蕉会亀田ファミリークリニック館山）、川原聡子氏（医療法人京友会介護老人保健施設つくも苑）、三好主晃（医療法人知真会グループ株式会社アズライフ木更津）によるオンデマンドを活用した運用形態にて開催に至った次第です。

この事業の目的は、「健康・体力づくり、スポーツ等の指導に関わる者が、その予防について正しく理解し、個々の身体状態と合せた適切な運動指導ができるよう、指導技術の向上を図るもの」とし、ロコモティ

ブシンドローム及び、食生活・栄養の講演とを併せて開催しております。皆様のお陰様をもちまして、参加者様、千葉県庁様よりご好評いただきつつ、建設的なご意見をいただきながらアップデートを繰り返し継続しております。

今回のオンデマンド開催は研修終了後直後において再生回数172回となっておりますが、参加者内訳及びいただいたご意見・ご感想は下記の通りでございます。

受講者年齢	人数	男性	女性	未回答
30歳以下	10	2	8	0
31～40歳	24	6	18	0
41～50歳	37	3	34	0
51～60歳	14	1	13	0
61～70歳	22	4	18	0
71～80歳	10	7	3	0
81歳以上	0	0	0	0
未回答	10	0	8	2
全体	127	23	102	2



- ・「体操は実践していますが、ロコモ予防体操は指導の幅を広げるのに役立ちます。」
- ・「座位、立位、臥位でのストレッチや体操方法や、効果部位が提示されていたため、とてもわかりやすかった。」
- ・「ひとつひとつ詳しい解説が入っていて、今後役に立ちそうだと感じました。」
- ・「その効果が体感でき、やる気に繋がる構成であり、今後の活動に活用し汎用性を高めてまいります。」

このように、30歳から80歳までの幅広い方々にご視聴いただき、研修の内容を今後の指導に活かしていきたいという声を多くいただいております、大変光栄に思います。

今回の研修参加者に対する千葉県のアンケート結果から、ロコモについての認知度は高く、「言葉も意味も知っていた」「言葉は知っていたが意味は知らなかった」を合わせると、認知度は98%となりました。一方で、プラステンについての認知度は全体で77%となっていました。尚、ロコモに対する関心度についても高いことがわかりました。

今後とも、県民の皆様の健康に繋がるべく、各種活動に努めて参りたいと存じます。

☑災害対策本部運営研修報告

災害対策委員会 児玉美香

2022年12月7日に災害対策本部運営研修をWEB開催しました。参加者は12名でPT 7名、OT 3名、ST 2名でした。東京湾北部地震震度7を想定し、災害対策本部の電話対応や記録、派遣チームへの説明などを体験していただきました。研修後の質問にお答えする形で本部活動経験者の体験談を共有することができたのは貴重な機会でした。

参加者へのアンケートで対面研修のご要望をいただきましたので、感染状況を見極めて対面の企画を検討いたします。他団体との連携の実例についても盛り込んでいきたいと思っております。

またアンケートで災害時の本部運営協力者を募集したところ5名ご登録いただきました。(仲間が増えて嬉しいです!)令和元年の台風の際に千葉JRAT活動拠点本部の運営に当会会員が協力した実績があります。災害時に協力するかどうかは、その時の状況次第で決して強制はいたしませんので、状況が許せば力を合わせて頑張りましょう。

ご参加いただいた皆様、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

研修会に対するご意見ご感想 (一部抜粋)

- ・実際の流れをイメージすることができました。ただ自分ができるかどうかと思うとまだまだ不安があります。今後も勉強を継続していかないと感じました。

- ・シミュレーション研修と理解したのですが、シナリオを読んでいるだけではよくわかりませんでした。
- ・対面での研修を希望します。
- ・今年から災害リハを勉強しています。積極的にスキルを身につけて、有事に動ける人になりたいと思っています。
- ・具体的なやり取りを体験することで現場をイメージしやすくなりました。院内の役割もクロノロなので大変参考になりました。

第28回千葉県理学療法士学会関連報告⑥

広報局長 瀨 瀨 琢 磨

第28回千葉県理学療法士学会

■テーマ：サステナブルな理学療法士の価値の創造

■会 期：2023年3月5日（日）

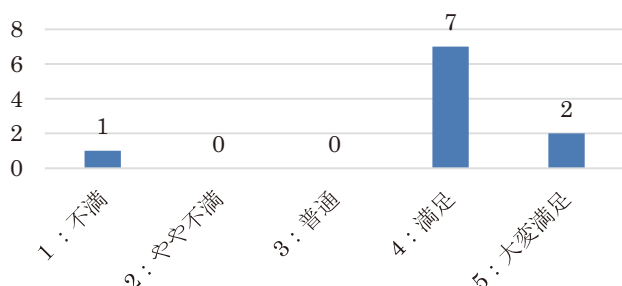
●準備委員会事務局挨拶

『学び・再会・出会いの場』

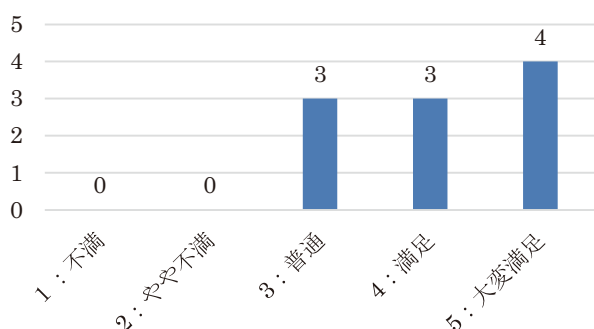
事務局長 奥 村 龍 之

(千葉県理学療法士会)

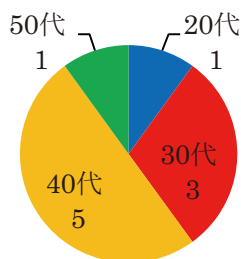
研修会の満足度



本部運営の役割や行動についての理解度



参加者の年齢構成



この原稿が会員みなさまにニュースとして届くのは2023年2月のはじめでしょうか。過去最高の登録演題数に、準備委員一同驚きとともに、感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

さて、演題登録の次は、みなさん自身の参加登録です。事前参加登録受付から一か月ほど経っていますが、もうお済みでしょうか。登録の締め切りは下記の通りです。

・クレジットカード決済：2023年2月17日（金）

・銀行振込：2023年2月2日（木）

第28回千葉県理学療法学会HPの【事前参加登録】からお願いいたします。

第28回学術大会は、千葉県理学療法士会としては初の試みとなるハイブリッド開催を予定しております。思い返せば、最後に対面で行ったのは2019年3月に千葉県立保健医療大学で開催した第24回です。その後、1回の中止を経て、ここ2年間は完全オンライン開催にて会員みなさまに【学びの場】を提供してきました。

ハイブリッド開催では【学びの場】はもちろん、久しぶりの【再会の場】であったり、新たな仲間との【出会いの場】を提供すべく、準備委員一同、コロナの状況を注視しつつ、試行錯誤しながらも、約一か月後に迫った当日に向け準備を進めております。

今回の準備のノウハウや当日運営の実績が、今後の千葉県理学療法学会のベースになるという、学会検討委員会委員長からの大きなプレッシャーを委員全員が感じつつも、全力を挙げて準備に取り組んでいます。

当日、多くの会員みなさまに城西国際大学で、またはオンラインにおいて、お会いできることを楽しみにしています。そのためにも、事前参加登録をお忘れなく。

●サステナブルな理学療法士の活動紹介

株式会社祥ファクトリ 外 口 徳 章

弊社では、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち、以下の二つについて主に取り組んでいます。理学療法士としての限定的な取り組みではなく、会社一丸となり取り組むための目標であり理念としています。

- ・すべての人に健康と福祉を
(Good Health and Well-Being)

もともと住み慣れた地域で、生きがいある生活が継続できるよう支援していくことを理念にしており、病気や障害を持つ小児からご高齢の方まで幅広く対象としてサービス提供を実施しています。そして医療だけでなく、介護・福祉との連携によりご利用者様一人ひとりの生活を支えています。

- ・ジェンダー平等を実現しよう
(Gender Equality)

女性が活躍できる職場づくりに力を入れており、常勤の中でも時短とフルタイムを選択できることや、年間休日数も2種類から選択できるような条件となっています。また、お子様の事情等により急に仕事を休まなければならないようになった時のフォロー体制等、困った時はお互い様ということで運営しております。

改めて今回考えてみると、SDGsの目標を設定し、それに取り組むということではなく、もともと取り組んでいたことや意識せずとも業務の一環として行っていたことが、結果として結びついているということに気が付きました。これは、県士会公益事業局の介護予防推進部や健康増進支援部の活動も同じことではないかと考えます。

SDGsへの取り組みを考えた際、なにか特別なことを求めがちですが、決してそのようなことではなく、自分自身の行動が時として、持続可能な【何か】に影響を及ぼしているという簡単なことなのかもしれません。

これからも利用者様の「その方らしさ」を大切に、また、スタッフ一人ひとりがその時々自身のライフイベントに合わせて働いていける職場を目指し、この高齢化社会の中で持続可能に地域の皆様が【お一人・お一人の描く理想の生活】ができるよう、取り組んで参ります。

☑一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和4年度 第7回理事会 議事録

日 時：令和4年12月9日（金）19時00分～20時10分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、薄 直宏、高橋 聡
児玉美香、藤井 颯、小川明宏
外口徳章、松川基宏、高杉 潤
桑江 豊、渡辺政基、松田 徹
西田裕介、小林好信、三和真人
中村亮太、山岡郁子、榎尾英之
草木雄二

〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦

〈議決権行使〉竹内弥彦

〈委任状〉藤川孝彦

〈欠 席〉森田悠介

〈委員長〉内村 元

〈事務局〉奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明

1 報告

1) 会長報告

10月14日（前理事会終了後）から本日までの行動概要について報告された。

2) 三役局長会議報告

三役局長会議は12月2日に開催され、議案調整等について報告された。

3) 事務局報告

事務局会議（12月1日開催）の議題（第6回代位議員総会後の業務について、ブロック経理関連、広報関係、人材バンクについて、新人歓迎セミナー等）について報告された。

4) 令和4年度地域ケア会議・介護予防推進リーダー取得に必要な要件・手続きについて

今年度の推進リーダー取得に必要な要件及び導入研修の開催について報告された。

5) WLB部ストレス調査の結果報告について

昨年度実施したWLB部の会員ストレス調査の集計と解析が終了したことについて報告された。

6) 第7回役員選挙および第4回代議員選挙の結果についての報告

第7回役員選挙は理事立候補者19名、監事立候補者0名。第4回代議員選挙は立候補者40名となった

ことが報告された。なお、代議員立候補者が定数に満たないため、20名～60名の推薦代議員の選出を令和5年3月10日までに行うことが確認された。

7) 令和4年度ハラスメント対策についての答申について

答申案の訂正について報告された。

8) 第28回千葉県理学療法学会の準備状況について

登録数は131演題となったことが報告された。

(一般演題55題, 主題演題14題, ビギナーズ53題, ブロック活動報告: 9題)

2 審議事項

1) 50周年記念式典 開催日について

開催日の第一候補を令和5年5月20日(土)として準備を進めることについて承認された。

2) 関東甲信越ブロック学会について

再来年度の関東甲信越ブロック学会の学会長について、田中会長の推薦が承認された。

3) ブロック活動を追加した定款の改定について

法務局に確認したうえで定款の第10章に委員会及びブロックとして修正することが報告され、承認された。

4) 世話人の認定申請について

2名の新規申請者の認定を審議し、賛成多数にて承認された。

次回、令和4年度第8回理事会

日時: 令和5年1月13日(金)

会場: WEB会議

❖お知らせ❖

🗳️選挙管理委員会より

●第7回一般社団法人千葉県理学療法士会
役員選挙 立候補者

選挙管理委員会 内村 元

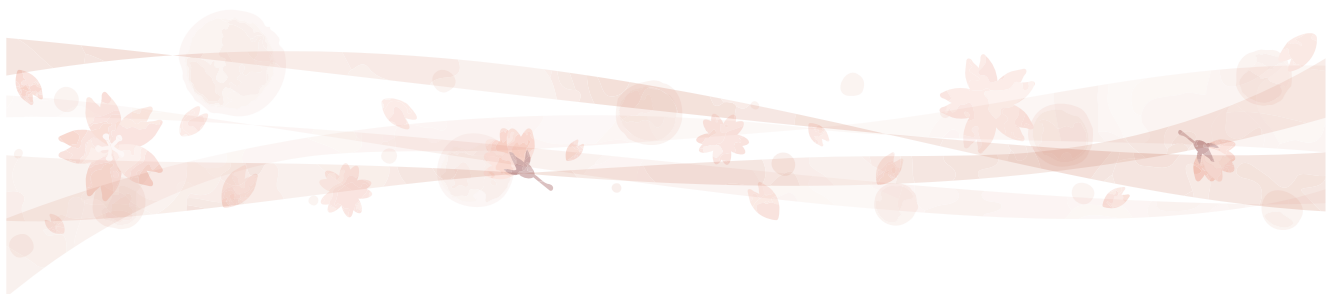
2022年11月10日に立候補者を締め切り、下記の19名の会員の方々が立候補されています。

監事の立候補者はおられませんでした。

2023年6月に開催予定の総会にて承認を諮ります。

1. 藤井 顕 (藤リハビリテーション学院)
2. 大住 崇之 (けやきトータルクリニック)
3. 竹内 弥彦 (城西国際大学)
4. 中村 亮太 (五香病院)
5. 竹内 真太 (国際医療福祉大学成田保健医療学部)
6. 小林 好信 (千葉医療福祉専門学校)
7. 三和 真人 (千葉県立保健医療大学健康科学部)
8. 渡辺 政基 (特別養護老人ホーム上総園)
9. 高橋 聡 (藤リハビリテーション学院)
10. 川村 雄輔 (季美の森リハビリテーション病院)
11. 小川 明宏 (東邦大学医療センター佐倉病院)
12. 森田 悠介 (九十九里病院)
13. 高杉 潤 (東都大学)
14. 深田 亮 (千葉大学医学部附属病院)
15. 薄 直宏 (東京女子医科大学附属八千代医療センター)
16. 田中 康之 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)
17. 桑江 豊 (城西国際大学)
18. 松田 徹 (亀田リハビリテーション病院)
19. 森下 勝行 (城西国際大学)

敬称略、受付順、カッコ内は所属



●第4回千葉県理学療法士会代議員選挙について

選挙管理委員会 内村 元

第4回千葉県理学療法士会代議員選挙は、2022年11月10日に立候補を締め切り、立候補者は40名でした。選挙要綱により投票は行われず40名の立候補者は当選となります。

また、定数を満たしていないため選挙要綱により補充の代議員（20～60名）の推薦を理事会へ依頼しました。

理事会推薦の代議員が決まりましたら、立候補者、推薦者をもって第4回千葉県理学療法士会代議員の当選者として千葉県理学療法士会ホームページにて公表いたします。

☒研究倫理委員会からのお願い

研究倫理委員会 三和真人

本委員会は発足より4年が経過しました。本会会長からの要望もあって、研究倫理規定等の作成に時間を費やしたこともあり、本格的に可動して3年を経過しました。その間、県外からの問い合わせがありました。実質2件の申請があり、承認に至るように申請者とやり取りがありましたが、2件とも承認されました。生涯教育システムの改定などもあり、本会機関誌も研究倫理の承認が求められてきましょう。残念ながら、本年度の申請は未だにゼロの状況です。研究倫理委員会がない施設等にお勤めの会員の方で、症例検討、アンケート調査、横断的研究、コホート研究などを行いたい、認定や専門理学療法士を考えて研究をしてみたいなどがあれば、是非とも研究倫理の申請をお願いします。研究倫理申請に関する手続きなどは本士会ホームページに掲載してあります。ご活用頂ければ幸甚です。



❖ 編集後記 ❖

●理学療法士の活躍の場

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

寒い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、前々号より副会長の皆さまから巻頭言をいただいておりますが、本号は竹内副会長より巻頭言をいただき、「原点回帰」理学療法（士）という職業を選択して想うというタイトルでした。

その中で、「目の前の困っている人に対して、自身の専門性を用いて主観的にその人が望まれていること、客観的に必要なことを提供することだと考えています。」とありました。私は現在、管理職を主に業務をおこなっています。なかなか患者様等に触れることはありません。時折、後輩たちが担当している患者様とのやり取りや治療風景をみていて口や手を挟んでしまいます。管理職としては良いことなのか悩むことがあります。つつい口や手が出てしまいます。やっぱり目の前の患者様を少しでも良くしたい。問題を解決してあげたい。また、後輩たちに直接指導できるチャンス

楽しんでしまいます。20年近く臨床の場で過ごしてきた私としては、時折このような時間が原点回帰の時間となり、新たなひらめきや新たな興味につながります。今でもバリバリ治療に携わりたいと思うこともあります。

しかし、任されている職務を遂行しなくてはなりません。でも、やっぱり目の前の患者様をどうにか笑顔にしたい。できなかつたら悩んで勉強して解決したい。やっぱり臨床は面白い。これに尽きるなって週に1回は思わされながら後ろ髪引かれる思いで後輩たちに託します。

この文章を読んでいただいている皆さまも、それぞれ色々な立場でお仕事されていると思いますが、自分が選んだ理学療法士という仕事を楽しむこと、自分がいま任されている職務を遂行することが、サステナブルな理学療法士の価値の創造に繋がるのではないかと思います。

さて！3月5日には第28回千葉県理学療法学会大会が開催される予定です！多くの方々に参加していただき、多くの方々の笑顔を見られたらと、楽しみにしております。

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは
令和5年2月20日です！

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 琢 磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunargroup.jp